



あだち野のむかし物語

ずーっと、ずーっと、昔ナイ。

布沢の衣掛け松①

昔むかし、大昔のこと、野や山は霞に包まれ、遠く西の方の山々もかすんで見える、春も遅い暖かい日が続く或る日の事でした。

若い弁天様は、木の芽のふくらむ音や、小鳥が木から木へ移りさえずる声にじっとしていられず、美しく着飾って羽衣に身を包み、青い空に向かって飛び立ちました。

しばらくして、木のあまり生えていない山にふんわりと降りてきました。白猪森です。白猪森は、口太山とこの里で一番高い麓山(羽山)の間にあり、網代傘を伏せたような形で、上の方は平らで広い所だったといえます。山一面に赤や黄色、白など色とりどりの花が咲き乱れ、蝶も交じり飛び、西山の残雪は灰色に変わり、弁天様は、ただ果然とその素晴らしい景色を眺めておりました。

弁天様がふと足もとを見ると、そこに拳を挙げ、弁天様を呼んでいるかのような形をした草が生え

ていました。初めて見る草で、蕨とは知らず、物珍しさからひと抱えも摘み続けました。

そうしているうちに蕨の根元に生えていた茅で、さっと指を切っしてしまいました。「痛い、ああ痛い。」と言っているうちにも、白い肌の手は赤く染まり、せつかく今まで喜んで採った蕨を、「いまいましい、こんなものを摘んでいたから、こんなこと。」と、辺り一面にまき散らしたといえます。それからこの辺りは、白猪森でも蕨が生えない所と伝えられています。

怒りも鎮まらぬまま、弁天様は再び西の方を目指して飛び上がりました。見下ろすと、樹々の芽が美しく口を開き、弁天様に声をかけてくれているようでした。幾分か越えて山の間を見下ろすと、水がこんこんと湧き出ている所があったので、弁天様は、そこに静かに降り立ちました。そこが布沢の鳥井戸だと伝えられています。

弁天様が、そのきれいな湧水で手を洗うと、いつしか痛みや出血も止まって、もとの手のように美しくなるといいます。でも、先刻の事がまだ心に掛かって忘れられず、落ち着けずにいたせいか、井戸尻の泥水の中に滑り落ちてしまったから、さあ大変。打掛け羽衣、薄絹や飾り物、果ては下着まで泥だらけになってしまいました。

「ああ、今日はなんとという悪い日だろう。」思えば思う程、泣くにも泣けず気を落としていました。

(2月号へ続く)

あだち野のむかし物語
安達地方広域行政組合
ウェブサイト



▲物語に登場する鳥井戸は現在も地元で保全を行っています。

二本松警察署からのお知らせ

犯罪発生状況(令和6年1月~11月末)

	二本松地区	安達地区	岩代地区	東和地区	不明等	合計	前年対比
侵入盗	1	2(1)		1		4(1)	1
空き巣	1	1				2	-3
出店荒し	7(2)	3	5	6		21(2)	8
その他	8(1)	10		1		19(1)	-12
非侵入盗	4	1				5	4
車上ねらい	24(6)	20	37(6)	21(6)		102(18)	48
自転車盗	7(1)	2	1(1)	2		12(2)	-2
器物損壊	3		1			4	-1
住居侵入	2		1	1		4	2
その他	15(1)	6(2)	3(1)	2(1)	2	28(5)	-7
合計	72(11)	45(3)	48(8)	34(7)	2	201(29)	38
前年対比	-22	-1	34	28	-1	38	

※()は11月の発生件数



地域で子供の見守りを!!
日常生活の中、気軽にできる「ながら見守り」活動の協力をお願いします。



国際電話番号によるなりすまし詐欺が急増中!!

+1や+44などから始まる番号、たとえば
+1312345678
+44698765432
このような表示の電話には出ない、かけ直さないよう、ご注意ください。

海外との電話が不要な方は、発信・着信を無償で休止できます
今すぐお申し込みを

固定電話・ひかり電話が対象です。そのほかにも一定の条件がありますので、詳しくは申し込みの際にご確認ください。

お申し込み・お問い合わせはこちら

国際電話不取扱いセンター
電話番号 0120-210-364 (通話料無料)
取扱時間 オペレーター案内:平日午前9時~午後5時まで 詳細情報はこちらから



-POLICEアプリふくしま登録募集中-

福島県の安全安心を守るアプリです。QRコードから登録してください。
二本松警察署電話 23-1212

